



京都市立紫明小学校
校長 林 孝浩
平成 31 年 3 月 19 日

TEL : 451-2156 FAX : 431-5811
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/shimeis/>



学校評価のアンケートにご協力有り難うございました。



日に日に春らしさがまし、中庭の桜は今にも咲き出しそうなほど、蕾をふくら

天せています。皆様方には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育の推進に、温かいご支援・ご協力をいただき、誠に有り難うございます。

さて、9月から2月までの児童の様子や学校の取組を見ていただき、2月末に後期学校評価のアンケートを実施させていただきました。お忙しい中、ご協力有り難うございました。

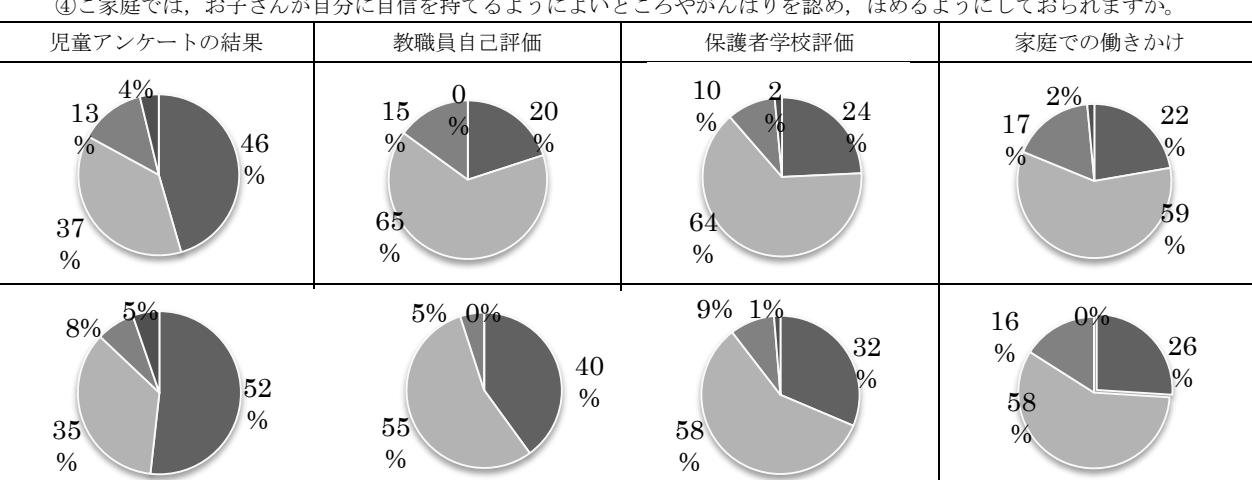
ご回答いただきました項目のすべてについて公表したいと考えておりますが、多くの項目がありますので、この紙面では、前期学校評特別号で取り上げたことを中心に、今年度の紫明校の取組や児童の様子はどうであったかをご報告いたします。すべての集計結果につきましては、学校 HP でご報告いたしますので、どうぞそちらもご覧ください。

平成32年度より完全実施となる新学習指導要領では、学校の教育活動のすべてを通して、何を理解し、何ができるか【知識及び技能】、理解していること・できることをどう使うか【思考力・判断力・表現力等】、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか【学びに向かう力、人間性等】の三つの柱で示す資質・能力を偏りなく育成することとされています。今年度は、学校評価の方法を、上記の内容を踏まえ、身につけてほしい資質・能力を挙げて、児童へのアンケートを実施することを中心に置きました。保護者の皆様へのアンケート項目、教職員の自己評価のアンケート項目は、ともに全て児童アンケートに関連する項目にしました。以下に示すグラフは

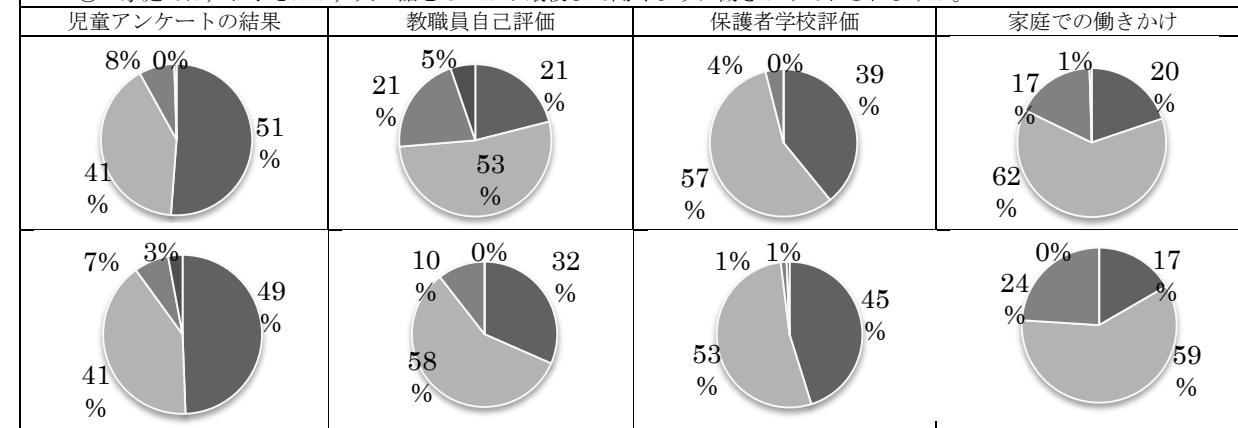
- ①児童アンケート…児童自身がそのことを出来ていると思っているか。
②教職員自己評価…教職員は、児童がそのことを身につけるための取組ができたと考えているか。
③保護者学校評価…保護者は、児童がそのことをできるように学校の取組ができていると思われているか。
④家庭での働きかけ…家庭では、児童がそのことをできるように取り組んでおられるか。

について尋ねた結果を表したものです。グラフ内の4項目は、時計回りに「よくできている」「だいじにできている」「あまりできていない」「できていない」を表しています。

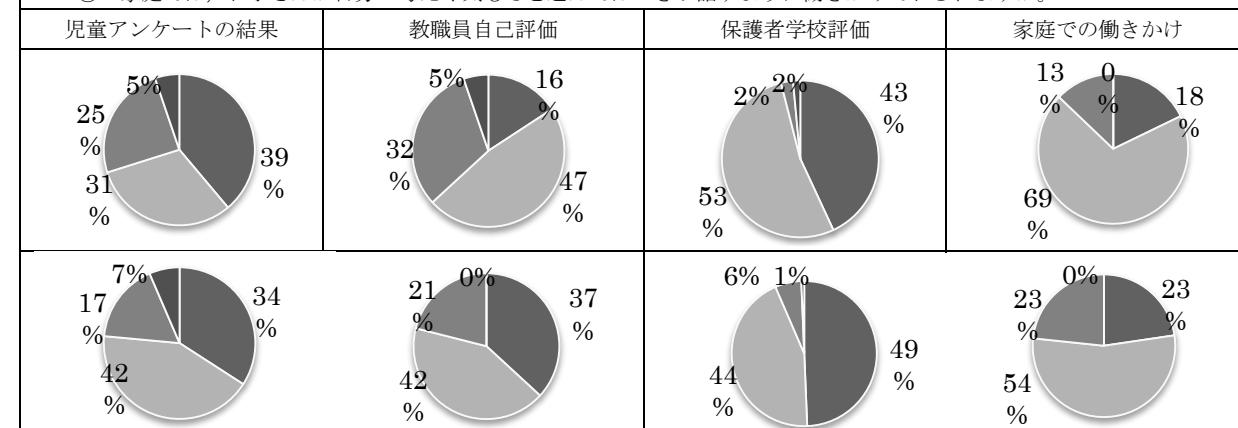
- ①自分のよいところや がんばっているところが言えますか。
- ②児童のよいところやがんばっているところを、積極的に見つけて、ほめたり励ましたりしている。
- ③学校は、児童の自尊感情が高まるような取組や働きかけをしていると思われますか。
- ④ご家庭では、お子さんが自分に自信を持てるようによいところやがんばりを認め、ほめるようにしておられますか。



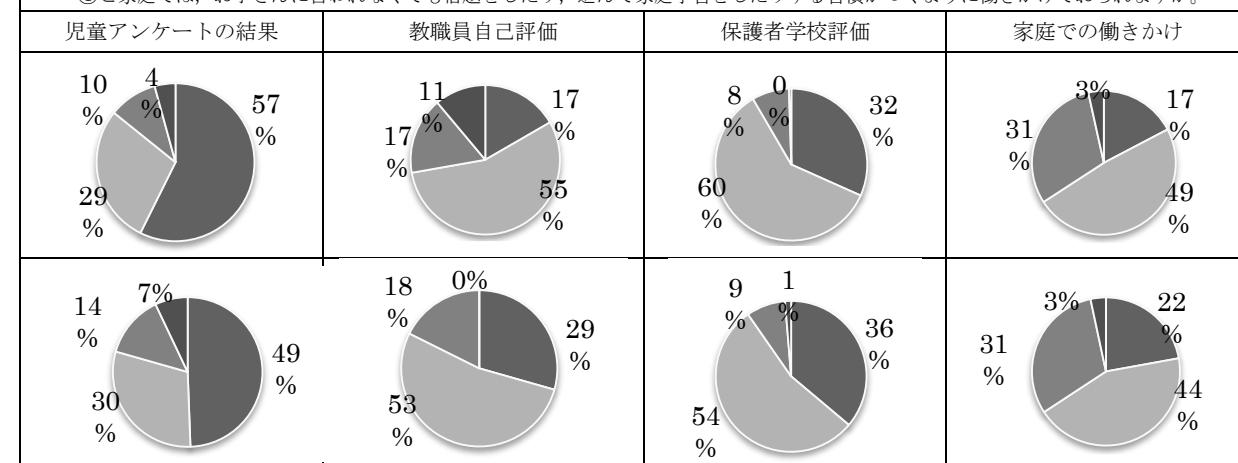
7. ①授業中やみんなが集まる場で、人の話をさいごまでしっかりとよく聞いていますか。
②授業中やみんなが集まる場で、人の話を最後までしっかりと聞くよう指導し、自身も児童の思いに寄り添い傾聴している。
③学校は、児童が授業中やみんなで集まる場で人の話を最後までよく聞くことができるよう取り組んでいると思われますか。
④ご家庭では、お子さんが、人の話をしっかりと最後まで聞くように働きかけておられますか。

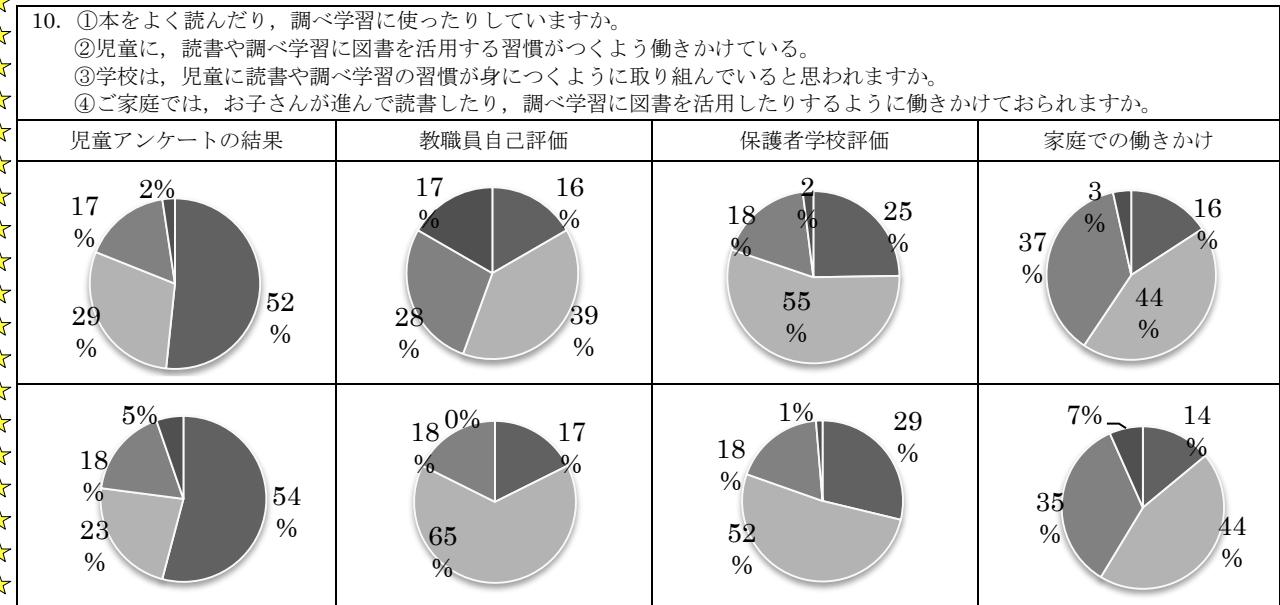


8. ①授業中やみんなで集まる場で、自分からすんで自分の考えや気もちを発表していますか。
②児童が、授業中やみんなで集まる場で進んで自分の考えや気もちを発表できる指導や場の設定をしている。
③学校は、児童が授業中やみんなで集まる場で、自分からすんで考えや気もちを発表できるように取り組んでいると思われますか。
④ご家庭では、お子さんが自分の考えや気もちを進んではつきり話すように働きかけておられますか。

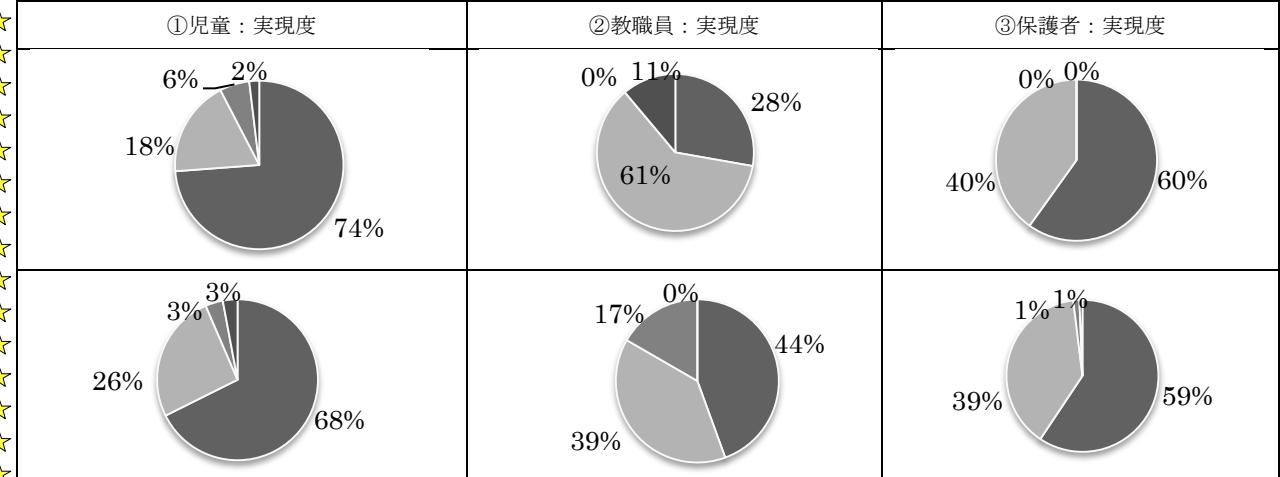


9. ①しゅくだいや家庭での学習を自分からすんでいますか。
②児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するよう指導し、家庭との連携も図っている。
③学校は、児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいると思われますか。
④ご家庭では、お子さんに言わなくても宿題をしたり、進んで家庭学習をしたりする習慣がつくように働きかけておられますか。





15. ①なかよしグループの活動を通して、色々な学年の人となかよしくしたり、協力し合ったりできていますか。
②児童がなかよしグループの活動を通して、異学年となかよしく協力し合えるように指導や働きかけをしている。
③学校は、児童が色々な学年の人となかよしく協力し合えるように取り組んでいると思われますか。



考察

ここにあげていないものも含め、どの項目にも少しずつ変化はありましたが、全体としては後期も、子ども達はとても落ち着いた状態で、学校生活や学習、学校行事等にがんばって取り組むことができたと言える結果でした。

3の「自分のよいところやがんばっていることが言えますか。」は、紫明小学校児童は自己肯定感をどの程度持っているのかを直接把握できるように、今年度から設けた項目であるため、前期には直接比較できる資料がありませんでした。後期の回答を前期と比べると、児童の回答・保護者の学校評価共に「よくあてはまる」の回答が増えて否定的な回答が減っています。これは、前期に誰がどのように回答したのかを担任がしっかりと把握して、否定的な回答をしている児童のことをよりよく見て行くよう心がけたことや、教職員全体で、児童に声をかけたり、がんばっていることを認め、

励ましたりしていくようにしたことが結果に結びついているのではないかと考えます。今後も引き続き、全ての児童が、自信を持って自分のいいところが言えるようにしていきたいと思います。

7・8について、今年度は、「聞く」と「話す」を別々の項目にして尋ねたところ、前期は児童の自己評価が「聞く」についての肯定的な回答の割合が大変高いのに対して、「話す」についての肯定的な回答割合は低いという傾向が見られました。後期になって「自分からすすんで発表することが「よくできた」が増えてはいないものの、「だいたいできた」が大きく増え、全体としては「話すことができていない」という回答の割合は少なくなりました。紫明校児童の「やや積極性に欠ける」という課題の解決に向けて、「自分の考えをしっかり持って人に伝えること」の大切さを児童に意識づけ、その機会をできるだけ設けるようにしてきた成果が少し見られたのではないかと考えます。

9・10について、「読書習慣や図書の活用力」「宿題や家庭学習を進んでする習慣」を身につけることは大変重要ですが、学校だけの取組では不十分で、ご家庭でもともに取り組んで双方で働きかけることが必要だと前期のまとめに書かせていただきました。前期に比べ、後期は肯定的な回答をしていただいたご家庭が増えています。学校の方でも学校図書館だけでなく、北図書館も大いに活用して並行読書や調べ学習が実施できる環境を整え、授業を進めました。今後も、読書や図書の活用力、家庭学習の習慣などがしっかりと定着し、児童の自己評価が大きく上がっていくように取り組みを続けたいと思います。ご家庭でのはたらきかけも引き続きよろしくお願ひいたします。

15について、6年生の一人一人全員がリーダーとなるグループ作りをするようになってから、「なかよしグループ活動」が大変よい形で定着しました。今年度は、6年生の人数が少なかったためグループ編成に苦慮しましたが、5年生もよく頑張って協力し合って活動することができました。5年生にとっては、来年自分達がリーダーとなる心構えにつながったと思います。子ども達が仲よく楽しんでいることが伝わっているからか、保護者自由記述欄に「なかよしグループ」活動が楽しくできていることについて喜んでいただいている内容の記入がたくさんありました。後期に「よくできている」の回答が少し減り、「だいたいできている」が増えたのは、秋に行っていた「なかよし遠足」がなくなり、グループでの大きな活動が後期になかったからかもしれません、毎月1回の「すいすいなかよし遊び」を見ていると、どのグループも仲よく活動できていました。年度最終の大きな児童会行事「6年生を送る会」に向けて、6年生全体のことを考えるのはもちろん、一人一人が自分のリーダーの6年生を思い浮かべて、メッセージや学年で作るかざり、送る会でのだしもの準備に取り組むことができている子ども達の様子をとても良いことだととらえています。

この資料の集計は全校の結果をまとめたものですので、教職員は自分自身の取り組み方を振り返りながら回答を受け止め、必要な働きかけをすぐに行い、今後に向けて改善していくようになるとが大切だと考えています。また、ここでは取り上げていないあいさつの仕方や、友達との遊びの様子、ルールが守れているかどうか、物の扱い方、周りにつられず自分で正しく判断できるかどうかなどについても、常に子ども達の様子をよく見取り、全教職員が一致した姿勢で、きめ細かく指導や声かけをしていかなければなりません。今後もすべての職種を含む教職員全体・紫明小学校全体で協力し合って子ども達を指導していきたいと思います。



自由記述欄にご記入いただいた学校の取組へのご意見と、ご家庭での具体的な取組・声かけの仕方などについてご記入いただいたことを、ご紹介します。紙面の都合上、全てをご紹介できませんがご了承ください。

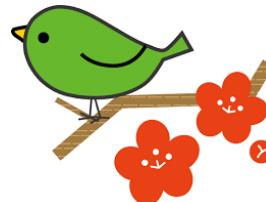
《学校の取組に関して》

【人権にかかわること】

- 様々な場面で普通学級の方と一緒に活動させていただき、たくさんいろんなことを学べたと思う。また、学校全体がいろいろな人がいること、少し違ってもお友達になれたり、一緒に何かしたりできること、お互いを大切に思う事などを、みんなが体験を通じて理解し、とても良い雰囲気になっていると思う。

【基本的生活習慣・あいさつ等について】

- 挨拶をきちんとできる子に育てるよう、親が進んで気持ちよく挨拶をする姿を見せるようにしている。



【安全にかかわること】

- 下校時、車道に広がって歩いたり、周りを見ずに走ったりする様子を見かける。学校や家庭で交通マナーの声かけがもっと必要だと思う。

【なかよしグループ（たてわり活動）】

- 紫明小学校の特色として、特に縦割り活動がさかんで仲良く、よいと思う。
 - 学年間の接点が生まれる取組は良い事と思う。世話をしたり、思いやったりする力がつくと思います。
 - たてわりの取組で、年上の児童への憧れや尊敬、年下の児童への思いやりや導きが育まれている様に感じて嬉しく思う。
 - この取組のおかげか、紫明小学校では、学年に関係なく放課後や休み時間、皆一緒に仲よく遊んでいるように思う。

【学習について】

- 紫明タイムを参観し、人前でしっかり暗記した文を大きな声で発表できていた本当に感心した。
 - 紫明タイムは、児童が前面に出て取り組むので、自信になるよいことだと思う。
 - 紫明タイムは、校外活動で得た想い等も発表できる場にしては？児童一人一人を育む学びは、学校行事からだけではない。学年のお題目通りに作文させるのではつまらない。紫明小の児童があらゆる方面で活躍している活動＆取組をぜひ発表させてみては？将来を切り拓く原動力にもなるかと考える。
 - 自主学習はやっても手ごたえがなく、その物自体なくなっているが、その程度で大丈夫なのか。

【その他学校生活全般】

- 先生が子ども一人一人をよく見て、指導して下さっていると思う。
 - この頃はこちらから聞かなくても、「学校でとび箱5段とべたよ！」など日々の様子を自分から教えてくれる。毎日楽しいことであふれているようで、親としては何より安心する。
 - 学校の話になるべく聞くようにしているが、様子や行事など毎週プリントでお知らせいただけるのがとても有り難いと思っている。
 - 学芸会でのナレーターは、一生懸命練習して家の中でも大きな声が響いていた。しっかり小学生として成長したことに感謝している。

- 学校で季節の野菜を育てて収穫したときは、喜んで持って帰ってきていた。季節や自然を感じられるよい取組だと思う。
 - 授業参観などの日程をもう少し早く教えてもらうことはできないか？
 - 忘れ物や字のみだれを家では口すっぱく言うが、1・2年時に比べてノートでのそのような指導が少なく感じ、本人もそれに甘えているようなところが見られる。
 - 少し昔と比べ、学校独自の“らしさ”が減ってきてている気がする。
いろんな意見があるとは思うが、“本年、当校は〇〇〇に力を入れる”的な短期目標を作り、子ども達にも保護者にも通知し、一体となって取り組めるとよいのでは？もし、毎年目標が設定されているのであれば、もっと周知して、一緒に取り組む方が、一貫性があつていいと思う。
 - 子ども達の興味・関心に向けたものだけでなく、必要とされる教育内容を取り入れていただき、子ども達の「考えたり工夫したりする力」へとつながってきているなど感じている。
 - 学年が上がるに連れ、他校児童と比べやたらと幼く脆いところが目立つ。単クラスの良い所でもあるが馴れ合い育ちの短所もある。
 - 学校評価の設問⑧⑩⑫⑬⑭は具体的な実情を把握していないため、回答することが難しいかと思う。
 - 担任の先生によって、宿題の量や内容が違うので、学校としてはどうなのかな、と思い⑨⑩⑪を答えた。

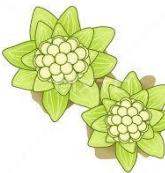


《家庭での取組・親としての思い》

- 家庭学習等全くしていないので時間を作っていくうと思う。
 - 忘れ物が少し目立つかな…と思うので、親子で気をつけていきたい。
 - 忘れ物をなくす工夫が、まだ足りないな…と思っている。
 - 自ら出来ることを探してお手伝いをしてもらえるよう促している。
 - 家庭では、学校から帰宅したら宿題を先にするということが自然と身についてきた。学習だけでなく最近ではニュースの内容について聞いてくるなど、より考える内容の幅が広がってきているように感じる。食事の時や時間のあるときには積極的にみんなでおしゃべりなどいろんな話をするようにしている。
 - 違いをみとめて敬意を払うという事にも意識をしている。京都は外国人の方と触れ合う機会もあり、有り難い。
 - よく話し、聞き、たくさんほめてやりたい。
 - 寝かしつけ時に話をし、できる限り参観に行っている。
 - 良い行動が出来た時にシールを渡し、10個たまつたら小さなご褒美をあげている。テーマは成長に応じて変えている。現在は①切替え ②ちょっとがまん ③30分で食事 ④負けたら、まいいか の4つ。
 - 生活習慣が安定し、自立心の芽生えも感じて、心身共に成長していることに驚く日々。楽しみに見守っている。
 - 何事にも一生懸命取り組むことは大切な事だということをよく話し、それができている時は声かけするように心がけている。
 - 家庭内で読書をするように言ったり、言われなくとも宿題をするように言ったりしているが、本人の気持ちがついて来ず、なかなかうまくいかない。すべてイヤイヤやっている感じで困っている。



- 親が先に時間割表をみて「体操服やマスク、その他要る物」を伝えてしまっていたのをやめ、子どもが「〇〇を用意して」と言うまで待つようにした。近いうちに自分で準備できるように収納方法を見直す。
- 苦手なこと、自信のないことでも「頑張ることが大切だよ」と言葉をかけるようにしている。
- 大きくなるにつれて、あまり自分から学校の話をしなくなっているので、様子が分かるようにさりげなく聞くようにしている。
- 家の中での仕事なので、どうしても時間きっちりに終わることが難しく、学童から帰ってきた時などゲームをさせておけばおとなしいのでさせてしまう。
- 朝、お友達と待ち合わせて行くようになってから、ささっと準備をして出かけていてうれしい限り。
- 先生の仕事量が多いので、先生を増やして子どもとのコミュニケーションの場を増やしていただけたとありがたい。
- だんだん大きくなり、周りが見られるようになってきて、良い所も悪い所も理解できるようになっている今、言動や行動を親として大人としてしっかりしないとよく見ている気がする。
- あまり学校での話をすることが無いけれど、誰と帰ってきたのかは聞くようにしている。自分のことはきちんとしているけれど、たまにはランドセルやプリントのチェックをしている。もう少し何かを目標に頑張れるように、興味を持つことを探していきたいと思う。
- 「家の時間割」を作って、宿題やお手伝いの予定をしている。学校の準備を前日に終えてほしい…。
- 高学年となり、自分を律して行動することが出来るようになってきた一方、まだまだ親が導いてあげなければならない部分もあり、関わり方を工夫していかなければ、と思っている。学校での紫明タイムや委員会活動など貴重な経験を生かして、周囲の人達と協力する姿勢を大切にしてほしい。
- 5年生は、いろいろと校外での学習が増え、視野が広ってきたと感じている。
- 思春期なのか、いちいちの口ごたえに腹が立ったりするが、どのように対応するのがよいのか試行錯誤中。
- 成長期で自分なりに考えていることもあると思うので、押し付けるようなことはしないで見守りながらアドバイスできるように心がけている。
- 家事などの手伝いを家族の一員としてやっていくよう役割を決めて取り組むようにしている。自ら進んで状況を見て手伝ってくれるようになり、とても助かっている。
- 学年が上がるごとに忙しくなる習い事。限られた時間、疲れ切った体の中で、いかに家庭学習をするか四苦八苦している現状。リラックスする時間、友達と遊ぶ時間も確保しながら、睡眠を少し削って勉強し、メリハリのある生活を心がけている。
- 家庭では、京都・日本のことの他にも、いろんな国があること、いろんな文化があることなど日々のニュースの内容から話したり、みんなと仲よくする、相手のことを考えることの大切さなどを折に触れ話題にしたりしている。学習面では、自分で調べること、新聞を読んで知ることなど、時事的関心を取り入れている。
- 自ら進んで取り組む、という点に向けての導入はなかなか難しいと考えている。
- おだやかな良い小学校に通わせていただいたと心より感謝している。



* * 学校運営協議会ニュー * ス * * *

3月6日（水）午後7時より、学校運営協議会理事の皆様にお集まりいただき、平成30年度第2回の学校運営協議会理事会を行いました。後期の「児童の学校生活ふり返りアンケート」と「教職員自己評価アンケート」、保護者の皆様からいただいた「学校評価および家庭での働きかけについてのアンケート」をまとめたものをもとに、紫明小学校が今後取り組んでいくべきことについて話し合いました。ご参加いただいた理事の皆様から貴重なご意見を頂戴しましたので、簡単なまとめとなりますがご報告いたします。



教職員の自己評価の結果を見て、前期にできていなかったことを後期に努力した様子が表れているとのご意見がありました。アンケートを実施したら、その結果を今後にどう生かすかということが大切だと思いますので、今後も個々人がこれまでの自分の取組をふり返り、十分でなかったことはより努力していくように努めるとともに、組織的な対応が出来るようにしていきたいと思います。小規模校であることを生かし、今後も紫明小学校全体ですべての子ども達を大切に見ていきたいと思います。

学校全体の取組である「なかよしグループ」活動が、今年度6年生が少ない人数でも頑張ったことや、5年生が6年生を補佐してよく動いたことについて、その時々の条件に応じて、実践的に対応できていることが素晴らしいと評価していただきました。今後も人数の変動はありますが、これまで積み重ねてきたことを生かし、紫明校のよい校風を育む取組の中心として、よりよいやり方で取組を続けていけるようにしたいと思います。

実際に体験することの大切さやその経験の大きさについてもご意見がありました。実際に体験することは、「おもしろいからこそよく分かる。」「その時には難しい意味や内容が分からなくても、後でその経験が役に立つこともある。」「見る側だけでなく、作る側の視点や工夫が感じられて分かることがある。」など多くの意味を持ちます。紫明校では、低学年の時から、地域の方にお世話になって季節の行事にふれる「七夕のつどい」や「ひなまつりのつどい」、また、6年生では卒業を祝ってくださる「巣立ちのお茶会」など様々な体験活動があります。また、各学年の教科の学習、総合的な学習の中でも様々な体験学習、校外学習を取り入れています。多くの人材がおられる恵まれた地域であることに感謝し、限られた時間の中で、豊かに学び取ることができるように、今後も目的をはっきりさせて、有意義な体験活動を取り入れていきたいと思います。

子ども達の一つ一つの行動について話し合う中から、「いつでも」「どこでも」「誰が見ても」「見ていなくても」やった方がいいと思うことをやれる力を身につけさせていきたい、との考えに参加者が思いを同じくしました。「いい」と思うことは大体どの子も頭では分かっている、けれどもそれが実際にできているかどうか、見直したり考えさせたりしていくことが重要です。やった方がいい事の基準を大人が上手に作っていくことも大事ですし、「きまりだから守る」ではなく、子ども達自身がなぜそのきまりがあるのかを考えることや、高学年であれば、「集団生活をしていく上ではどんなきまりが必要か」を自分達で考えることも大切ではないか、と話し合いました。自分達で考えたことなら納得して実行できるので、今後そういう取組も考えていきたいと思います。

未来を創っていく子ども達がよりよい生き方をしていくために、「子ども達に身につけてほしい力」をじっくり考え、「みんなで育てる」という考え方で、ご家庭と地域と学校が手を取り合って、子ども達を育んでいきたいと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

